

発行日:令和6年4月26日(金)
発行者:前田(生徒支援コーディネーター)

○ はるちゅうタイムについて

「はるちゅうタイム」は、週に1回、10分間、学級活動の時間に全学年で行っています。生徒たちは、3つのやくそく「①あいさつをする ②うなづく ③指示を聴く」を守り、楽しいエクササイズをし、その中で、話し方・話の聞き方などのソーシャルスキルを体験的に学んでいます。

「はるちゅうタイム」のねらいは、「学校が楽しい」「人と仲良くなる方法を知っている」と思える生徒を増やすこと。本校で5年目の取り組みとなる『はるちゅうタイム』。10分の活動が学校教育活動の軸になって、よりよい人間関係の構築と授業でのより深い学びへとつながることを目指し、毎週水曜日、全校生徒、全先生で取り組んでいます。

○ はるちゅうタイム・はるトークを授業に生かす

4月24日(水)、手束先生と2年1組の生徒による校内研究授業が行われました。今回の研究テーマは、授業における「かかわり合う力を活かした深い学び」～協同学習における対話を通して～です。普段の授業の中に、「はるちゅうタイム」、「はるトーク」をいかに活用させられるのか、またそれがどのような効果をもたらすのかを2年1組の生徒のみなさん、授業者の手束先生と春木中学校も全先生方で学びました。そのレポートをお届け致します。



今回の内容は戦国時代について。織田信長と豊臣秀吉の統一事業を比較し、どちらも当時の日本社会の変革に大きな影響を与えたことを理解するというもの。非常に興味深い内容ですが、少し取り組むには知識が必要とされる、なかなか挑戦が楽しそうな目標設定でした。

実は今回の研究授業は2年1組以外の生徒は全員下校後に行なわれました。ですが、2年1組のみなさんはいっさいネガティブな発言をせず、とても明るい雰囲気です。授業がスタートしたのが印象的でした。

【 導入 】

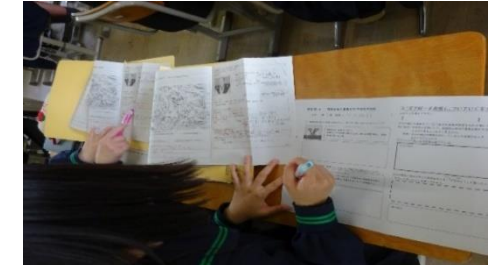
○ 信長・秀吉の絵を提示し、行った政策を確認する。



黒板にはピクチャーカードが用紙されており、視覚的にも先生の指示が明確に配慮されていました。生徒のみなさんが今から何について活動すればよいのか、自分で確認することができる工夫がされていました。

⇒ ここで「はるトーク」の登場です!!

手束先生の指示の後、ぱっと各グループに。既習の学習プリントを見せ合い、対話的に協同的にすべてのペアが一懸命に課題に取り組みました。



個人では、なかなか課題に難しさを感じる生徒も、仲間となら笑顔で取り組もうと思える姿がみられました。また、お互いの意見を出し合い、新しい知識や価値観に出会えた姿も多く見られました。

【 展開 】

○ 天下統一を目指し、ついていくなら信長?秀吉?

⇒ ここで「はるちゅうタイム」の活用です!!



「あいさつ」、「うなづく」、「指示を聞く」の3つのはるちゅうタイムのルールを守りながら、仲間と意見を交流させ、関わり合う力を活かしながら、社会科における深い学びを行う2年1組のみなさん。班活動にすることでより多くの知識や視点に出会うことができます。また、同時に反対の意見を聞いて自分の考えを調整することもできます。手束先生のねらいが生徒の活動ときちんとリンクし、素晴らしい協同学習の場面がみられました。

⇒ さらに2年1組のすごい場面が最後の「全体交流」です!!



班を飛び出し、より多くの知識と出会う生徒たちの望ましい姿がそこにありました。みんな互いの意見に自信をもって交流をしていました。そして、たくさんの交流の後により多くの知識に出会い、理解を深めた成果として、とても内容のあるふりかえりを行っていました。2年1組のみなさん、手束先生、本当にありがとうございました。